



北海道ニセコ高等学校 進路だより

自己実現

～ 真路を探究する～

平成29年10月31日(火)
進路指導部
第 3 2 号

進学説明会

9月28日(木)の5・6時間目に1、2年生を対象として、ニセコ町民センターにて「進学説明会」を実施しました。進学希望者には大学・短大・専門学校の入試課担当者から説明していただき、就職希望者にはニセコ町役場や民間の方を講師として招きました。



タブレットを使っての説明



進路実現に向け、しっかりと話を聞く



1人ひとりに丁寧な説明



学校パンフレットや進学情報の資料

内定一覧(10月現在)

【就職】

株式会社わかさいも本舗、株式会社もりもと、京極製氷株式会社

【進学】

札幌子ども専門学校、日本自動車大学校、ヒューマンアカデミー専門学校、北海道観光専門学校

11月の進路行事

- 9日～17日 2学年キャリアカウンセリング
- 10日(金) なるには説明会
- 15日(水) 2学年就職ガイダンス

11月の資格試験情報

- 5日(日) 第2回英語検定(2次)
- 10日(金) 漢字検定
硬筆書写技能検定
- 26日(日) ビジネス文書実務検定試験

職業人の言葉

各業界で活躍している職業人の方達が、職業選択・職業間・高校時代の勉強の意味などについて語ったものです。参考にしてみてください。「高校生進路支援新聞 第40号」(NPO法人高校生進学支援の会、2017)を参考

○営業職



特に**話し方、コミュニケーションの取り方**を大事にしている。仕事で成功するため、場面に応じた言葉遣いができるかどうか。たとえば、銀行に融資の相談をするとき、長年つきあいのある顧客と話すとき、新規の顧客に会うとき、外国での取引のとき、**全て話し方が異なる。人を見て、人を知って、感じて合わせる**。高校生のみなさんも、ものを買うときには、自分のフィーリングの合う店員から買いたいはず。コミュニケーションの使い分けが大事だ。

○菓子職人



まず仕事は**10年**くらいは続けないと、深いところまで見えてこない。10年を超えると、いろいろ分かってくる。でも、**余り没頭するのもよくない**。仕事の一方で、いい趣味を楽しんでほしい。生活にハリが出てくるから。社会人になると、意外なところで高校時代の勉強が役立つことがある。親になったとき、親の面倒を見ることになったとき、何らかのかたちでいずれ役に立つ。**努力して覚えたことは無駄にはならない。勉強は自分の身を助けてくれる**。

○弁護士



勉強することは、進路をはじめ、これからの**人生の選択の幅を広くすること**だ。高校時代は、**将来のために自分が持つ選択肢を増やす時期であるし、増やす力を養う時期**でもある。コツコツやることが成果につながる。高校のうちに**勉強癖をつけてほしい**。

○看護師



これは看護師の仕事に限らないだろうが、就職して半年くらいは、**学校で習ったことと目の前の現実とのギャップで悩むことも多くある**。自分の態度の決め方や対処の仕方が上手に見つけられるよう、高校生の頃にもっと勉強しておけばよかったと思う。

○ホテル（接客業務）



なによりお客様から喜ばれることで自信がつく。仕事をやっていて大変なこと？たくさんある。覚えるべき業務知識がいっぱいなので、経験を積まないといけない。電話対応も大変だ。**仕事を選ぶときに大切なこと？やりたいことが見つければ一番いいが、見つからなければ、なんでもまずやってみる**。

○銀行（管理職）



学校では勉強をはじめとする成績を見られる。これは社会に出ても同じだ。企業では人事考課で従業員を評価する。もちろん、ひとつの企業であっても従業員によって仕事が様々に分かれるので、**高校の時のように全員を一つの試験で評価するわけではない**。それに会社による評価だけでなく、お客様からの評価もある。これだけは負けない、という得意なことがあることは大切だが、**社会に出てからの評価は、一つの物差しだけではないことを覚えてほしい**。